

## 税とはなんなのだろうか

小樽市立向陽中学校 2年

堀 瑠夏

私は小学六年生ぐらいまで税金には何の種類があり、なぜあるのかわかりませんでした。まず、一番身近な消費税は八パーセントや十パーセント増加されて売られているのがニュースや母から聞き、気づいたことです。そのことを知った時は消費税はいらないんじゃないかと思いました。今までは小学生低学年で買うものの値段も小さく、年も幼いのでお金が買う時増えていたなんて思いもしませんでした。しかし段々と年が大きくなっていくと買うものの値段も大きくなっていくので今まで何十円の消費税が何百円になったことを経験して実感を持つことができました。

では、なぜ消費税とはあるのでしょうか。そのためにまず私は消費税について知ることが大切だと思い、調べてみることにしました。見てみると消費税は商品の販売やサービスの提供に対してかかる税金だと書かれていました。税金が上がったり下がったりするのは、国の景気などは関係あるのか気になります。本題にもどりますが、消費税は何に使われているのでしょうか。主に年金、医療費、介護、少子化対策に使われていて、国民の助けになっていることが分かりました。消費税は学生には少し金銭面でつらい税ですが、払った分、自分に返ってくると

考えてもいいのかと思います。

次に、消費税以外の他の税について知ってみたいと思い、調べることにしました。税金は約五十種類もあり、一番驚いた税は、「入湯税」です。温泉に入るだけに税がかかるのはこのような機会があつて調べることがない限り知ることがなかつたので知識として新たに覚えてよかったなと思います。

税金は、すべて意味があつてお金がとられることや現在の少子高齢化の対策などに使われ、未来のことに少しでも安心が持てればいいなどいろいろな考えがありました。税金が除々に高くなっていくのは少し残念ですが、今後のために使ってもらえると知ってうれしいです。これからも税金をたくさん払うことになると思うので、今のうちにどのような税金があるのか、どのような内容なのかを知り、友達や家族と深め、話し合えたらと思います。